

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市岸部中5丁目プロジェ	階数	4
建設地	大阪府吹田市岸部中5丁目	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定値)
建物用途	物販店,病院,工場,	評価の段階	
竣工年	2021年11月 竣工	評価の実施日	2020年4月27日
敷地面積	9,151㎡	作成者	西岡
建築面積	6,162㎡	確認日	2020年4月27日
延床面積	22,702㎡	確認者	伊東



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 健康まちづくりのコンセプトを軸に、木調素材や植栽を多く配置し、周辺の景観形成に配慮した計画としている。 テナント顔出しを目的に外周部はほとんどサッシで構成されるため、複層ガラスを標準とし、外周部全長の半分以上には3m程度の軒を設けることで熱負荷を低減し、室内環境に配慮した計画としている。 三角形の特徴的な形状を利用して、3頂点に設備スペースを分散し、明確な設備ルートを確認することで、設備の 	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 空調負荷を低減するために複層ガラスを標準とした。 外周部全長の半分以上に3m程度の軒を設け日射遮蔽し、熱負荷を低減している。 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー法の建築物移動円滑化基準を満たしている。 売り場の天井高はすべて3.0m以上を確保している。 将来のテナント入替に対応できるように、予備スペース
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 複層ガラスを標準として、熱負荷を低減している。 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 有害物質を発生しないF☆☆☆☆建材の使用に配慮している。
	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 敷地周辺は緑地が少ないため、建物外周部に敷地面積15%以上の緑地と中・高木を配置し、周囲の景観形成に配慮した計画としている。
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 指導された規模の雨水流出抑制を設置している。 適切な量の駐車、駐輪スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0019

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】 建物名称 (仮称)吹田市岸部中5丁目プロジェクト 商業棟建設工事

建設地 大阪府吹田市岸部中5丁目

用途/区分 物販店 病院 工場

【評価結果】 CASBEE 総合評価  B+

① CO2削減  4

② みどり・ヒートアイランド対策  2

③ 建物の断熱性  5

④ エネルギー削減  4

⑤ 自然エネルギー直接利用  —

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—	—

エネルギー消費量の報告 報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.6	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		